

<<変更後>>

①大規模噴火が観測された際に発表する「遠地地震に関する情報」
(情報文のイメージ)

地震情報（遠地地震に関する情報）

15日13時10分ころ、海外で規模の大きな地震がありました。
震源地は、南太平洋（南緯20.3度、西経175.2度）と推定されます。
詳しい震源の位置はトンガ諸島です。

日本への津波の有無については現在調査中です。

令和4年1月15日13時10分頃（日本時間）にフンガ・トンガ・フンガ

・ハアパイ火山で大規模な噴火が発生しました（ウェリントン航空路火山灰情報センター（VAAAC）による）。

この噴火に伴って通常とは異なる津波が発生して日本へ到達する場合、到達予想時刻は早いところ（【領域名】）で、〇〇日〇〇時〇〇分頃です。予想される津波の高さは不明です。

海外の検潮所での津波の観測状況については、随時お知らせします。

今後の情報に注意してください。

（注1）本情報の冒頭に「海外で規模の大きな地震がありました。」や「震源地」とありますが、これは「遠地地震に関する情報」を作成する際に自動的に付与される文言です。実際には、規模の大きな地震は発生していない点に留意してください。

（注2）火山噴火に伴う潮位変化の呼称については、今後検討していきますが、当面は防災対応の呼びかけとして「津波」と表記します。

（注3）早い場合の日本への到達予想時刻は、火山の大規模噴火により発生した気圧波が310m/sで伝播し潮位変化させたと想定した時刻です。

（注4）地震に伴い発生する通常の津波が日本に到達する場合、【領域名】で〇〇日〇〇時頃と予想されます。

<<変更前>>

①大規模噴火が観測された際に発表する「遠地地震に関する情報」
(情報文のイメージ)

地震情報（遠地地震に関する情報）

15日13時10分ころ、海外で規模の大きな地震がありました。
震源地は、南太平洋（南緯20.3度、西経175.2度）と推定されます。
詳しい震源の位置はトンガ諸島です。

日本への津波の有無については現在調査中です。

令和4年1月15日13時10分頃（日本時間）にフンガ・トンガ・フンガ

・ハアパイ火山で大規模な噴火が発生しました（ウェリントン航空路火山灰情報センター（VAAAC）による）。

この噴火に伴って通常とは異なる津波が発生した場合、日本への到達予想時刻は不明です。

海外の検潮所での津波の観測状況については、随時お知らせします。
今後の情報に注意してください。

（注1）本情報の冒頭に「海外で規模の大きな地震がありました。」や「震源地」とありますが、これは「遠地地震に関する情報」を作成する際に自動的に付与される文言です。実際には、規模の大きな地震は発生していない点に留意してください。

（注2）火山噴火に伴う潮位変化の呼称については、今後検討していきますが、当面は防災対応の呼びかけとして「津波」と表記します。

（注3）地震に伴い発生する通常の津波が日本に到達する場合、【領域名】で〇〇日〇〇時頃と予想されます。場合によっては、これよりも早く到達する可能性があります。令和4年1月15日に発生したフンガ・トンガ・フンガ・ハアパイ火山の大規模噴火においては、13時10分頃に噴火し、父島二見（火山から約7,000km）で通常の津波の到達予想時刻より2時間半程度早く19時58分に、勝浦市興津（火山から約7,700km）で通常の津波の到達予想時刻より3時間程度早く20時20分に、第一波を観測しました。

<<変更後>>

②大規模噴火に伴い、海外の検潮所で潮位変化が観測された際に発表する「遠地地震に関する情報」（情報文のイメージ）

地震情報（遠地地震に関する情報）

15日13時10分ごろ、海外で規模の大きな地震がありました。
震源地は、南太平洋（南緯20.3度、西経175.2度）と推定されます。
詳しい震源の位置はトンガ諸島です。

日本への津波の有無については現在調査中です。
太平洋の広域に津波発生可能性があります。

令和4年1月15日13時10分頃（日本時間）にフンガ・トンガ・フンガ・ハアパイ火山で大規模な噴火が発生しました（ウェリントン航空路火山灰情報センター（VAA C）による）。

既に観測された各地の津波の高さは以下のとおりです。

*印の津波の高さは太平洋津波警報センター（PTWC）による。

国・地域名	検潮所名	津波の高さ
トンガ	ヌクアロファ	0.8 m *
フィジー	スバ	0.3 m *
米領サモア	パゴパゴ	0.6 m *
クック諸島	ラロトンガ島	0.3 m *
サモア	アピア	0.2 m *

この噴火に伴って通常とは異なる津波が発生して日本へ到達する場合、到達予想時刻は早いところ（【領域名】）で、〇〇日〇〇時〇〇分頃です。予想される津波の高さは不明です。
今後の情報に注意してください。

（注1）本情報の冒頭に「海外で規模の大きな地震がありました。」や「震源地」とありますが、これは「遠地地震に関する情報」を作成する際に自動的に付与される文言です。実際には、規模の大きな地震は発生していない点に留意してください。

（注2）火山噴火に伴う潮位変化の呼称については、今後検討していきますが、当面は防災対応の呼びかけとして「津波」と表記します。

（注3）早い場合の日本への到達予想時刻は、火山の大規模噴火により発生した気圧波が310 m/sで伝播し潮位変化させたと想定した時刻です。

（注4）地震に伴い発生する通常の津波が日本に到達する場合、【領域名】で〇〇日〇〇時頃と予想されます。

<<変更前>>

②大規模噴火に伴い、海外の検潮所で潮位変化が観測された際に発表する「遠地地震に関する情報」（情報文のイメージ）

地震情報（遠地地震に関する情報）

15日13時10分ごろ、海外で規模の大きな地震がありました。
震源地は、南太平洋（南緯20.3度、西経175.2度）と推定されます。
詳しい震源の位置はトンガ諸島です。

日本への津波の有無については現在調査中です。
太平洋の広域に津波発生可能性があります。

令和4年1月15日13時10分頃（日本時間）にフンガ・トンガ・フンガ・ハアパイ火山で大規模な噴火が発生しました（ウェリントン航空路火山灰情報センター（VAA C）による）。

既に観測された各地の津波の高さは以下のとおりです。

*印の津波の高さは太平洋津波警報センター（PTWC）による。

国・地域名	検潮所名	津波の高さ
トンガ	ヌクアロファ	0.8 m *
フィジー	スバ	0.3 m *
米領サモア	パゴパゴ	0.6 m *
クック諸島	ラロトンガ島	0.3 m *
サモア	アピア	0.2 m *

この噴火に伴って通常とは異なる津波が発生した場合、日本への到達予想時刻や予想される津波の高さは不明です。
今後の情報に注意してください。

（注1）本情報の冒頭に「海外で規模の大きな地震がありました。」や「震源地」とありますが、これは「遠地地震に関する情報」を作成する際に自動的に付与される文言です。実際には、規模の大きな地震は発生していない点に留意してください。

（注2）火山噴火に伴う潮位変化の呼称については、今後検討していきますが、当面は防災対応の呼びかけとして「津波」と表記します。

（注3）地震に伴い発生する通常の津波が日本に到達する場合、【領域名】で〇〇日〇〇時頃と予想されます。場合によっては、これよりも早く到達する可能性があります。令和4年1月15日に発生したフンガ・トンガ・フンガ・ハアパイ火山の大規模噴火においては、13時10分頃に噴火し、父島二見（火山から約7,000 km）で通常の津波の到達予想時刻より2時間半程度早く19時58分に、勝浦市興津（火山から約7,700 km）で通常の津波の到達予想時刻より3時間程度早く20時20分に、第一波を観測しました。